

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Preconception folic acid supplementation use and the occurrence of neural tube defects in Japan: A nationwide birth cohort study of the Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: 日本における妊婦の葉酸サプリメント摂取と児の神経管閉鎖障害予防の検討 エコチル調査から

ユニットセンター(UC)等名: 宮城UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Congenital Anomalies

年: 2019 月: 7 巻: 59(4) 頁: 110-117

筆頭著者名: 西郡秀和

所属UC名: 宮城UC

目的:

海外の調査に基づき、日本でも子どもの神経管閉鎖障害予防目的で妊娠前からの葉酸サプリメント1日400 μ g摂取が推奨されている。しかし、日本における大規模な前向きな疫学調査はなかった。エコチル調査を用いて妊婦の葉酸サプリメント摂取による児の神経管閉鎖障害の予防効果を検討した。

方法:

エコチル調査に登録された単胎妊娠の妊婦を対象に検討を行った。妊娠前から葉酸サプリメントを摂取した妊婦と、妊娠前から摂取していない妊婦を対象に、子どもの神経管閉鎖障害(二分脊椎、無脳症、脳瘤)の発症率を比較した。

結果:

単胎妊娠の妊婦92,269名のうち、子どもの神経管閉鎖障害(二分脊椎、無脳症、脳瘤)は74名であった。妊娠前から葉酸サプリメントを摂取した妊婦は7,634名(8.27%)であった。これらを対象に、妊娠前から葉酸サプリメントを摂取した妊婦と、妊娠前から摂取していない妊婦を、多重ロジスティック解析で比較した結果、子どもの神経管閉鎖障害の発症率に有意な差はなかった。

考察:(研究の限界を含める)

神経管閉鎖障害予防目的で妊娠前からの葉酸サプリメント1日400 μ g摂取が推奨されているが、本研究の限界として、葉酸サプリメントの摂取量は調査されていないことから、この解析結果の解釈は慎重にするべきである。日本においても、葉酸サプリメント摂取量を調査したより詳細な検討が必要である。

結論:

エコチル調査の解析では、妊婦の妊娠前からの葉酸サプリメントを摂取は、子どもの神経管閉鎖障害発症率を有意に低下しなかった。